

オリンピック・パラリンピック教育 実践報告

オリンピック・パラリンピック教育推進担当 鈴木

昨年度に引き続き、「障害者理解」に重点を置いて、オリンピック・パラリンピック教育の指導を行ってきました。各学年や専科の時間を通して実施した学習活動をご報告いたします。

1年生「目が見えないって どんなこと？」

視覚障害のロッククライミング世界チャンピオンの小林浩一郎さんを講師にお招きして、お話を伺いました。「どんな色が好き？」という曲を皆で歌い、一人一人が違って良いということを教わりました。



2年生「おかしあそびを たいけんしよう」

昔遊びのプロフェッショナルである太田昌秀さんを講師にお招きして、昔遊び体験を行いました。子供たちは、でんでん太鼓や吹き矢など、経験したことのない遊びを体験し、日本の伝統文化に触れました。



3年生「世界の国のことを知ろう」

「世界友だちプロジェクト」の学習の一環として、6年生との交流活動を行いました。ツバル、コロンビア、ハンガリー、韓国、ガーナの5カ国の気候や獲得メダル数などについて、クイズ形式で学びました。



4年生「車いすについてもっとよく知ろう」

車いすで生活しながら一人暮らしを営む方からお話をうかがい、4年生の自分ができることを考えました。乗る人の安全を考えた操作の仕方も習い、実際に押す・押しってもらうなど体験を通して、ボランティア精神を学びました。



5年生「障害者スポーツを体験しよう」

ボッチャ体験を通して、パラリンピック競技への理解を深めました。また、地域の高齢者や車いすで生活する方との交流も行いました。義足体験では、実際に義足を使っている方からお話を聞き、実際にスポーツ用義足の体験も行いました。



6年生「車いすバスケット」「生け花体験」

元パラリンピック選手の多智利枝さんを講師に招き、車いすバスケットボールを体験しました。障害があっても体を動かす楽しさが味わえることを知りました。また、日本の伝統文化に触れる学習として生け花体験を行い、日本固有の伝統美を実感しました。



5年生は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えたポスターを作成しました。4年生は、日本の伝統文化である和菓子の工場を見学し、紙粘土で制作しました。和菓子の美しさや作る人の気持ちに触れました。

図工「ポスター」「和菓子づくり」

